

## 第4次安倍第2次改造内閣において総務大臣政務官兼内閣府大臣政務官に就任

参議院議員進藤金日子(かねひこ)でございます。

この度の内閣改造におきまして総務大臣政務官兼内閣府大臣政務官を拝命いたしました。私の担当は、行政評価、行政管理、統計、恩給、それから、マイナンバー制度についても所管をさせていただくことから、内閣府の大臣政務官も兼務をすることとなりました。与えられた使命をしっかりと果たすために努力をしてまいりたいと思います。これまでは、主に農山漁村と農林水産業の振興・発展に全力を注いで参りました。これからは、総務大臣政務官としての立場から、これまでの政治活動に拍車をかけつつも精一杯務め、日本の食を支えている農山漁村の振興のために、地方の思いに耳を傾け一生懸命に取り組んでまいります。

これまで以上のご指導を賜るようよろしくお願いをいたします。



総務大臣政務官席



総務大臣政務官室入口



就任記者会見の様子

## 令和2年度予算の総額確保に向けて全力投球

令和2年度予算の概算要求が各省庁から提出されました。いずれの予算要求も国民生活を向上させるためになくはないものです。特に、「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づく農政改革等を着実に実行し、農林水産業の成長産業化と美しく活力ある農山漁村を実現するための予算は必要不可欠です。農林水産関係予算は対前年比118.2%の要求となっています。

その中で、農林水産施策を下支えする農業、林業、水産業の基盤整備関係の公共事業は、121.1%と大幅な増要求となっています。特に、大幅な予算削減以来、関係者の関心の高い農業農村整備事業関係予算は、対前年比122%の要求となっています。これから年末に向け厳しい闘いとなりますが、皆様とともに予算の総額確保に努めて参ります。 <https://www.shindo-kanehiko.com>

### 現場の実態や声を大事にしながら取組みます

今後もあらゆる機会をとらえ、全国各地の現場の声を背景に、「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」を創るため、あくまでも現場主義、地域主義を基本として、国政の中で積極的に活動して参ります。

参議院議員 **進藤金日子**



# 毎日元気に活動しています。

皆様方の要望等を踏まえ各種会合等に参加し、積極的に対応しております。



自民党農林関係合同会議に出席し、次期食料・農業・農村基本計画にかかる質疑要望



農村基盤整備推進議員連盟総会において司会・進行



自民党水産関係合同会議で意見



自民党農林関係合同会議で意見



東日本大震災復興支援マルシェに参加



自民党二階幹事長への要請活動に同席

活動の様子は、以下のアドレスからご覧ください。

<https://www.shindo-kanehiko.com/活動/>

## 各地で皆さんと意見交換

全国各地にお邪魔し、現場の声を伺っています。



土地改良関係者と意見交換



「山の日」の記念式典に出席



土地改良ブロック大会に出席



鹿児島県の豪雨災害の現地調査



国、県、村、土地改良区との意見交換



土地改良区創立50周年記念式典で講演

皆様からたくさんの質問や激励をいただいています。代表的なキャッチボールをご紹介します。



土地改良予算の令和2年度概算要求のポイントを教えてください。(全国)



魅力ある農業・農村の実現のため、野菜等の高収益作物への転換や農地の集積・集約化を促すための農地の大区画化・汎用化等の「農業競争力強化対策」と、農業水利施設の長寿命化・耐震化、ため池の改修等の「国土強靱化対策」に重点化されています。概算要求額は、これら2つの対策を柱に5,388億円(対前年度比122% 970億円増)です。なお、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」や「TPP等対策」は予算編成過程で検討することとされており、概算要求額には含まれていませんが、これらの対策予算も含め、予算確保に向けて関係者が一体となり努力していく必要があります。



近年、局所的な集中豪雨や台風などによる山地災害が深刻化しています。国土強靱化のための緊急対策が行われているのは知っていますが、緊急対策終了後は大丈夫でしょうか?(全国)



昨年12月に「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策(以下、「緊急対策」)が決定され、これに基づき治山ダム等の設置、荒廃森林の間伐、林道改良、流木防止対策を実施中です(平成30年度2次補正及び平成31年度当初予算で613億円措置)。まずは緊急対策による令和2年度予算の確保とともに、林野公共事業の予算確保が最優先の重要課題です。全国各方面から緊急対策の延長或いは新たな対策の実施を求める声が増しに大きくなっており、こうした声にしっかりと対応する必要があると考えています。



水産関係予算の令和2年度概算要求のポイントを教えてください。(全国)



水産関係予算は、昨年度と同額の3,003億円が要求されています。水産改革を迅速かつ円滑に進めるためには、漁業者の皆様のご理解とご協力が不可欠であり、一連の改革の推進に必要な予算を十分に確保することが大切です。こうした観点から、概算要求では適切な資源管理と水産業の成長産業化に関連した予算に重点化されています。具体的には、漁業経営安定対策の強化、沿岸漁業の競争力強化、人材の育成・確保対策の強化・拡充、水産公共事業等に予算が重点化されており、これら予算とともに、予算の総額確保に向けて関係者が一体となって努力していく必要があります。

皆様のご意見やご感想をお聞かせください。お待ちしております。

参議院議員 進藤金日子事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館719号室  
電話：03-6550-0719 FAX：03-6551-0719

毎日の活動については、進藤金日子オフィシャルサイトをご覧ください。  
<https://www.shindo-kanehiko.com>